

関西支部&W会共催「第12回合同研究会」の報告

開催日時：7月26日(月) 17:00~18:50

開催会場：大阪市立総合生涯学習センター第3研修室

- ・「第12回合同研究会」は感染予防対策(受付時の検温とアルコール消毒、マスク着用、会場の換気、会場参加者の削減によるソーシャルディスタンス確保)を徹底して開催致しました。会場17名、リモート6名、計23名の方に参加いただきました。
- ・凸版印刷(株)秦講師からは「サステナブルライフーSDGsと生活者の環境意識ー」のテーマで、コロナ禍、生活者の意識も大きく変わりつつあります。食品・日用品産業では「脱プラ」、「廃棄ロス削減」が2大責務とされています。凸版様が実施した「サステナブル調査」から生活者の環境意識の傾向をご説明いただくとともに、今後の環境配慮容器の開発キーワードについてご紹介いただきました。
- ・三笠産業(株)遠藤講師からは「改正食品衛生法ー食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度についてー」のテーマで、2020年6月の食品衛生法改正により、食品用容器包装のPL制度化が施行されました。5年の経過措置期間はあるが、PLは未完成であり、順守にむけて課題は多い。当研究会では規制の概要説明と実務対応の課題についてご説明いただきました。
- ・両テーマとも参加者から活発な質問が飛び交い、大いに盛り上がりました。

◆凸版印刷(株) 秦講師



◆三笠産業(株) 遠藤講師



◆講演風景



◆会場参加の皆様

